



# コロポックル

No.85

平成24年3月版

【発行】

札幌市私立幼稚園PTA  
連合会広報委員会

〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目 札幌市生涯学習総合センター

(社)札幌市私立幼稚園連合会 <http://www.s-youchien.or.jp/> TEL.011-671-3590 FAX.011-671-3591

## 『無限の可能性という贈り物』



札幌市私立幼稚園  
PTA連合会 会長

大野 浩 人

今年もあつという間に年度末を迎えました。各ご家庭でも進級、進学に向けた準備に大忙しではないでしょうか？幼児期の子ども達は肉体的にも、精神的にも大きな成長を見せてくれます。そういう子ども達の成長はそれを見守る私たちにとって、まさに親冥利に尽きるというのではないのでしょうか。

そして私たちは日々、家族や幼稚園の先生、仲間たちと協力し合いながら子ども達のより良い成長を支えていかなければなりません。しかしながら最近の傾向として幼稚園に子育てを過剰に依存する保護者が増加しているように感じます。幼稚園ですること、起きる事は先生方にお任せいたします。と、言うこと聞こえは良いのですが、子ども達のためにはどうしても保護者の力が幼稚園でも必要になります。

お金を払って預けているのだから当然でしょ？ある意味、正当な言い分にも聞こえます。多くの子ども達は生まれて初めて幼稚園で共同生活の難しさを経験します。仲間を作ったり、いざこざを経験したり、それを先生に訴えたり、相談したり・・・

家庭ではなかなか体験し得ない経験を幼稚園で学んで成長します。子ども達のこの先の長い長い人生において極めて短く、でも濃密な時間を幼稚園で過ごすのです。

幼児期にそのような経験を積んでこそ、昨年未曾有の大震災に見舞われた際にも整然と大規模な略奪もなく、お互いを助け合い励ましあう、世界が驚愕するよううな、信じがたいほど美しい人間性を発揮するのではないのでしょうか？

お話をするとき100人の子ども達が集まっても、先生の一言でシーンと静まり全員の目が話し手の方を向くものです。一方で大

人はどうでしょうか？  
こういう貴重な時間を経験している子供たちを幼稚園に任せっきりではもったいないし、失礼でもあると思います。

保護者の助けを必要とする幼稚園のために、そこで今しかできない貴重な経験を積んでいるわが子を見守るためにPTA活動が欠かせないものになります。一昔前くらいからPTAは敬遠されがちな活動のひとつとなつてしまひ、保護者の中にはPTAが無い幼稚園を優先的に選択する、あるいは入園してもPTA活動には参加しない、という方が増加する傾向もあるようです。

決して、無理をしてPTA活動に参加すべきとは申しません。できる範囲で構いませんので幼稚園の日々の活動に、是非関わっていただきたいと思います。運動会のお手伝いだけでも結構ですし、バザーだけでも構いません。

そういう一連の活動を通じて幼稚園活動の中での保護者の役割を体感いただきたいと思います。子ども達の素晴らしい姿を肌で感じていただきたい、そうすることでPTAの活動にご理解をいただきたいと思います。

先生たちはよくおっしゃいます。『私たち教員と保護者の皆さんは車の両輪の関係なのです』と。

片側の車輪だけが回転したのでは、当然、車はまっすぐには進みません。先生たちと同じように私たち親が、親と同じように先生たちが共に手を携えて歩調を合わせることで車はしっかりとまっすぐ進んでゆくのですね。

この先、どれほどの可能性を秘めているかさえ想像のつかない素敵な子ども達のために、もっと幼稚園を、PTA活動を身近なものに感じていただきたい。

そこで毎日成長を続けている子どもたちの中にまた新たな素晴らしさを発見していただきたい。

こんな想いが少しでも皆さんに伝わったならば幸いです。

## 「コロポックル」はホームページでもご覧いただけます。



<http://www.s-youchien.or.jp/s-pta/index.html>

パソコンからでもスマートフォンからでもアクセスできます！

ぜひのぞいてみてください。

